

■*Laboulbenia* 属に新種 *L. quarantena* が報告され、クロサイワイタケ科には新属新種の *Diabolocovida claustris* が提唱されました。これらはコロナにより行動制限を強いられた研究者がイライラを募らせて新型コロナウイルスがらみで命名したもので、菌類にもパンデミックの波が押し寄せているようです。(ま)

■今号は、編集後記を書くことが恥ずかしいくらい、なにもしない編集委員でした。申し訳ありません。実は、去年はきのこも全然みる事ができませんでした。そんなときがあることも、あるんだな。と思って、編集後記を書きました。(横) ■キノコ観察自主練を継続中ですが、やはり皆様との観察会で得るものが大きいと感じております。通常の観察会ができる日を心待ちにして日々を過ごしております。

(井) ■きのこを通すと森だけでなく様々なことがわかるのだな、といつもみなさまの原稿に教えられながら作業しております。話題をお持ちの方、遠慮せずご投稿ください。原稿にするほどでは…という場合でも、じつはそれが重要なことだったりするかもしれません。いまの記録は、未来につながっています。(公) ■令和3年(2021)の今年も博物館を退職後3年目の再任用として博物館に勤務しています。1987年に千葉県にやってきて、約30年博物館に勤務、千葉県は知らない土地だったのですが、きのこ愛にあふれる腰野文男元会長のおみちびき、そしてきのこ好きの会員みなさんに情報や標本をいただきながら房総きのこを勉強してきました。そしてこれまであれこれ考えてきたことを集めてまとめるようなことで、職場の紀要にハツタケをめぐる話として書きました。会員みなさんに読んでいただければと思い、今号の会報に再掲載させて頂いた次第です。(光)

□今号はフルカラー仕様となりました。価格が大幅に下がったことで実現できました。Web版とともにお楽しみください。

□本誌に加え、ホームページへのご意見や感想などもありましたらお聞かせください。またご要望も受け付けております。(事務局)

ISSN 1881-9230

千葉菌類談話会通信 37号

CHIBA MYCOLOGICAL CLUB BULLETIN NO. 37

2021年3月

発行/千葉菌類談話会

編集/千葉菌類談話会編集幹事

連絡先

〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2

千葉県立中央博物館 吹春俊光

メール fukiharu@nifty.com ※@を小文字にしてください

ホームページアドレス <http://chibakin.la.coocan.jp/>

編集後記